

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2015. 7. 13

下水道機構の『新技術情報』 第197号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

待ちに待った晴れの週末。ですが、暑すぎましたね。都内のアイスクリーム屋さんの前には、大行列ができていました！自分は大丈夫と思っていたのですが、昨年、室内で熱中症にかかりました(T\_T) 油断大敵です。皆さんもこまめな水分補給など熱中症対策にお気を付け下さい。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第197号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・7月の技術サロンは、横浜ウォーター(株) 技術部門 下水道担当マネージャー 小林史幸氏をお迎えして開催しました
- ・下水道展 '15 東京に出展します！
- ・7/1 付人事異動がありました

■機構の動き

- ・今週は、7/13(月) 管路技術共同研究委員会、7/14(火) に第2 審査証明委員会、7/16(木) 新技術設計手法等委員会、汚泥処理新技術実用化評価委員会を、7/17(金) に第5 審査証明委員会を開催します

■Tea Break

- ・気象衛星 「ひまわり8号」 (研究第二部 M.I さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・当機構では、7/1 付人事異動により新たなメンバーを2名迎えました！

■国からの情報

- ・7/10 付下水道ホットインフォメーション

。○。

●7月の技術サロンは、横浜ウォーター(株) 技術部門 下水道担当マネージャー 小林史幸氏をお迎えして開催しました

今回のテーマは、「上下水道一体となった国内外事業展開の取組 ～信頼されるパートナー企業として～」でした。小林氏は平成15年に横浜市下水道局施設課に入庁され、以降、横浜市の下水道事業に携わる傍ら、平成22年度には国土交通省へ、そして、平成26年より現在の横浜ウォーターへ出向され、国内外での幅広い水ビジネスに関わっておられます。講演内容は、横浜ウォーターの会社概要や事業概要、また、国内外における取組事例や中期計画についてご説明いただきました。同社は、公公民連携をスローガンに、東日本大震災の被災地(宮城県山元町)における復興支援として行った包括的業務委託導入や財政計画策定の支援、下水道法改正に伴い国土交通省が行う事業管理計画手引きの作成支援、東南アジアを中心とした国際的プロジェクトとして、フィリピンの上下水道事業運営などを実施されており、その活動範囲は多岐にわたっています。今後とも、国・自治体・民間企業のパートナーとしての役割に期待が高まるところです。

さて、次回のサロンは、9月10日(木)17:00から18:00。テーマ及びゲストについては、別途ホームページやメルマガ等によりお知らせします。

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

●下水道展 '15 東京に出展します！

2015年7月28日(火)～7月31日(金)の4日間、日本発！暮らしを支える底力「下水道展'15 東京」が東京ビックサイトにて開催されます。下水道機構は、『技術の橋渡し』～人・技術・情報をつなぐ“かけはし”に！“をテーマに東1ホール(小間番号-608)にて出展します！下水道展へお越しの際は、ぜひ！下水道機構ブースへもお立ち寄りください。ご来場お待ちしております！

詳しい出展情報はこちら→ <http://www.jiwet.or.jp/gesuidouten2015>

●7/1付人事異動がありました

【転出】

研究第一部 研究員 小高 悠 (日本水工設計(株))

資源循環研究部 研究員 島 直純(月島機械(株))

【転入】

研究第一部 研究員 森脇 隆一 (日本水工設計(株))

資源循環研究部 研究員 小野 基巳(月島機械(株))

。○。

機構の動き (機構の行事予定です)

。○。

●平成 27 年 7 月 13 日(月) 13:30~16:30

行 事 : 平成 27 年度第 1 回管路技術共同研究委員会

場 所 : 機構 8 階 特別会議室

案 件 :

- ①下水道管路施設へのフラッシュゲートの適用に関する共同研究 (継続)
- ②マンホールポンプの長寿命化等に関する共同研究 (新規)
- ③ボルテックスバルブに関する共同研究 (新規)

●平成 27 年 7 月 14 日(火) 13:30~17:30

行 事 : 平成 27 年度第 1 回第 2 審査証明委員会

場 所 : 機構 8 階 特別会議室

案 件 : 平成 27 年度 建設技術審査証明 (下水道技術) の各技術の説明及び  
質疑応答

●平成 27 年 7 月 16 日(木) 13:00~15:00

行 事 : 平成 27 年度第 1 回新技術設計手法等委員会

場 所 : 機構 8 階 中会議室

案 件 : 下水処理場等における効率的な管理・運営のための情報共有等に  
関する共同研究 (継続)

●平成 27 年 7 月 16 日(木) 15:30~17:00

行 事 : 平成 27 年度第 1 回汚泥処理新技術実用化評価委員会

場 所 : 機構 8 階 中会議室

案 件 : 伊万里市 保有エネルギー高度活用型汚泥処理・資源化システム

●平成 27 年 7 月 17 日(金) 13:30~17:30

行 事 : 平成 27 年度第 1 回第 5 審査証明委員会

場 所 : 機構 8 階 特別会議室

案 件 : 平成 27 年度 建設技術審査証明 (下水道技術) の各技術の説明及び  
質疑応答

---

。 。 。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

---

。 。 。

●気象衛星 「ひまわり 8 号」 (研究第二部 M.I さんからの投稿です)

七夕の日、日本の遥か南の赤道上空約 36,000km の静止軌道にある気象衛星ひまわり 8 号が本格運用を開始しました。「ひまわり 8 号」の性能は大幅に向上しました。解像度がこれまでの 4 倍に、台風や日本付近の撮影頻度が 30 分に 1 回から 2 分 30 秒に 1 回の 12 倍となります。

気象衛星ひまわりも 8 号になるのかとふと思います。気象衛星がない時代は、富士山気象レーダーが台風の位置を早期に察知していました。この巨大レーダーの建設



の開催案内（「下水道展'15 東京」併催企画）【国土交通省】

●平成 26 年度新たな雨水管理に関する F S 調査結果の公表と今年度 F S 調査都市の公募について【国土交通省】

●大阪府流域下水道 50 周年記念 新マンホールふたデザインを募集します【大阪府】

●平成 27 年度雨水技術情報交換会 今年度は 7 月 29 日に開催！

【国土交通省国土技術政策総合研究所】

○下水道部関係人事（7/9）

財務省主計局調査課調査主任 森岡壯吉（下水道企画課法規係長）

○国土交通省災害・防災情報（<http://www.mlit.go.jp/saigai/index.html>）

●「水循環基本計画」が閣議決定されました(7/10)【国土交通省】

水循環基本法に基づく水循環基本計画が本日、水循環政策本部（首相トップ）で議論され、閣議決定されました。流域ごとに地方公共団体、国、有識者等が参画する「流域水循環協議会」の設置が本計画の柱です。流域水循環協議会は、流域水循環計画を策定し水循環に関する施策を推進します。下水道についても、都道府県構想に基づく持続的なシステム構築、広域化、戦略的な維持管理・更新、再生水利用、エネルギー利用、水循環に関する教育の推進、水ビジネス国際展開など多岐にわたり施策が盛り込まれています。

・水循環基本計画

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/mizu\\_junkan/kihon\\_keikaku.html](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/mizu_junkan/kihon_keikaku.html)

・官邸HP

[http://www.kantei.go.jp/jp/97\\_abe/actions/201507/10mizujunkan.html](http://www.kantei.go.jp/jp/97_abe/actions/201507/10mizujunkan.html)

・日経新聞

[http://www.nikkei.com/article/DGXLASFS10H0E\\_Q5A710C1EAF000/](http://www.nikkei.com/article/DGXLASFS10H0E_Q5A710C1EAF000/)

・共同通信

<http://www.47news.jp/CN/201507/CN2015071001001047.html>

●下水道の広域化・共同化の推進に係るワークショップ（7/29 10時～12時）

の開催案内（「下水道展'15 東京」併催企画）【国土交通省】

本年5月20日に公布された改正下水道法においては、持続的な下水道機能の確保を目的とした維持修繕基準が創設されるとともに、維持修繕、改築等の事業を適切に実施するための地方公共団体の執行体制の強化に向けた広域化・共同化の促進に係る規定が盛り込まれました。国土交通省としましては、地方公共団体の実状に応じた多様な支援方を設けたいと考えています。本ワークショップでは、広域化・共同化に関心のある地方公共団体等の方々にお集まり頂き、先進事例の紹介のもと、広域化・共同化の具体的な形態やその実現に向けた国による支援方策のあり方などについてディスカッションを行います。参加ご希望の方は、下記により7月22日（水）迄にお申し込み下さい。

・日時：平成27年7月29日（水）10時～12時（開場9：30）

・会場：東京ビッグサイト（下水道展会場）会議場 701 / 702

・プログラム

①改正下水道法に関する解説

②先進事例のご紹介

先進的な取組をしている下記自治体から取組内容、当該取組を実施するに至った経緯、実現までのプロセス等についてご紹介。

・秋田県

・長野県

・長崎県 波佐見町、東彼杵町

③グループディスカッション

数名のグループ毎に、2～3のテーマを設け、ディスカッション及び発表を行う。

・問合せ先：国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課

電話 03-5253-8430 担当：木村、峯、安田

・申込み先：株式会社NJS 〒162-0067 東京都新宿区富久町 6-8

E-Mail: [kyoko\\_tominaga@njs.co.jp](mailto:kyoko_tominaga@njs.co.jp)

電話 03-5269-6507 Fax: 03-5269-9928 担当：富永

●平成 26 年度新たな雨水管理に関する F S 調査結果の公表と今年度 F S 調査都市の公募について【国土交通省】

国土交通省では、昨今頻発する局地的な大雨等への対応を図るため、これまでに整備された施設のストックを適切に評価・活用するとともに、施設情報や観測情報を活用した新たな雨水管理計画の策定手法により、早く安く浸水被害を最小化する考え方の普及展開を図っています。そこで、平成 26 年度は、神奈川県厚木市、愛知県岡崎市をフィールドに実行可能性調査（F S）を行いました。また、今後、指針類に新たな雨水管理計画の策定手法について有識者委員会（委員長：東京大学大学院古米弘明教授）を開催し、論点を整理しました。この度、これらの内容を国土交通省HPにて公表しましたのでお知らせします。また、平成 27 年度も引き続き、F S 調査を実施することとし、対象都市の公募を平成 27 年 7 月 22 日まで行っておりますので、併せてお知らせ致します。

（参考URL）ストックを活用した都市浸水対策機能向上のための新たな基本的考え方

→

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo\\_sewerage\\_tk\\_000314.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000314.html)

●大阪府流域下水道 50 周年記念 新マンホールふたデザインを募集します【大阪府】

大阪府流域下水道は、今年度、昭和 40 年の事業着手から 50 周年という節目の年を迎えます。大阪府流域下水道 50 周年記念イベントとして、大阪府広報担当副知事「もずやん」とコラボした新マンホールふたのデザインを一般公募しています。最優秀作品は、大阪府流域下水道の新しいマンホールふたのデザインとして使用されます。

現在、本府流域下水道のデザインマンホールふたは府内に約1000個ありますが、今後約10年間で既存のふたを新しいものに順次取り替える予定です。

(募集期間：平成27年7月1日～9月10日)

・大阪府流域下水道マンホール蓋デザイン募集

<http://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/index.php?site=fumin&pageId=20839>

・大阪府流域下水道50周年記念特設ページ

[http://www.pref.osaka.lg.jp/gesui\\_jigyo/50syunen/index.html](http://www.pref.osaka.lg.jp/gesui_jigyo/50syunen/index.html)

●平成27年度雨水技術情報交換会 今年は7月29日に開催!

【国土交通省国土技術政策総合研究所】

平成27年度雨水技術情報交換会を東京ビッグサイトにて開催される第52回下水道研究発表会の機会を捉え、下記のとおり開催したいと存じます。ご参加希望される方は7月16日(木)までに下記電子メールあてご回答ください。

① 日時：平成27年7月29日(水)17:00～18:30頃

② 場所：東京ビッグサイト会議棟605会議室

③ 話題提供

(1)「下水道光ファイバーを活用した都市浸水対策について」

(一社)日本下水道光ファイバー技術協会 専務理事 上ノ土 俊 氏

(2)「落葉等による雨水枡のつまりが都市浸水に与える影響について」

1. 雨水枡の落葉等ゴミ詰まりに係わる全国の事例紹介

日之出水道機器(株) 第2戦略企画グループリーダー 菅野 泰次郎 氏

2. 落葉が雨水枡等の排水性能に与える影響に関する実験

(株)G&U 技術研究センター 研究・開発部長 土手 一朗 氏

(3) アナウンスメントコーナー

④申し込み先及び問い合わせ先

国土技術政策総合研究所 下水道研究部下水道研究室 主任研究官 松浦達郎

電子メール：[matsuura-t86kg@nilim.go.jp](mailto:matsuura-t86kg@nilim.go.jp)

=====

◆カンボジア首相、北九州で下水処理技術を視察〈7/6 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/region/news/150706/rgn1507060005-n1.html>

◆舩添知事 ハノイ市長に都の洪水防止策などPR〈7/6 東京新聞〉

<http://www.tokyo->

[np.co.jp/article/tokyo/20150706/CK2015070602000113.html?ref=rank](http://www.nippon.co.jp/article/tokyo/20150706/CK2015070602000113.html?ref=rank)

◆<ゲリラ豪雨>市街地浸水 緊急警報速報メール 国交省〈7/9 毎日新聞〉

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20150709-00000051-mai-soci>

◆下水道、ガス、電気 土地購入前のチェックポイント〈7/4 日経電子版〉

<http://www.nikkei.com/money/features/73.aspx?g=DGXMZ08880856002072015000000>

◆盛り上げまっせラグビーW杯! 聖地・花園のお膝元でマンホール蓋がW杯仕様に  
〈7/7 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/west/news/150707/wst1507070067-n1.html>

◆甲府城跡発掘調査で遺構が出土 雨水対策に大規模水路 石垣に沿い城外へ排水か

〈7/4 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/region/news/150704/rgn1507040035-n1.html>

---

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20150421/>

---